

# 日本財団 Work! Diversity プロジェクトの今後及び推進 フォーラム・地域プラットフォーム構想

論 点 整 理 （案） 2021 年 1 月 20 日

(※)今後変更ありうる。

## 1. 日本財団 Work! Diversity プロジェクト及びプロジェクト後のダイバーシティ機構のあり方に係る基本的事項

### 1.1. 最終的な到達目標（理念）

(プロジェクトないしダイバーシティ就労支援機構の) 目指すべき最終的な到達点は何か。どういう理念に基づいて取り組むのか。

→ 障害者に限らず、多様な働きづらい人々向けの多様で良質な働く場が多様な形で整備され、実際に働く人々が増えることが実現すること。そのため、必要な施策の実現を目指すとともに、基本サポートサービスが確実に提供される環境整備を行うこと。

### 1.2. Work! Diversity プロジェクト（～2020 年度）での到達目標

最終的な到達目標を踏まえつつ、Work! Diversity プロジェクトの到達目標をどこに置くか。

→ ①カンファレンス、HP、モデル事業その他を通じ、ダイバーシティ就労の意義を日本全体で共有する環境を生み出すこと、②必要な政策パッケージを提示すること、③推進フォーラム、地域プラットフォームの可視化。

### **1.3. Work! Diversity プロジェクトのロードマップ**

Work! Diversity プロジェクトは、最終的に、いつまでに何をやるのか、中間点としていつまでに何をやるのか。

→ 2021 年度末までに、推進フォーラム及び 2-3 のモデル地域プラットフォームの立上げ、中間的な政策提言提出、第 3 回カンファレンスの開催。2022 年度末までに、推進フォーラムの事業を開始し、地域プラットフォームを多くの地域で発足させるとともに、先行する地域プラットフォームでは、地域支援機関、就労事業所（企業、福祉事業所）、就労困難者（本人、家族、当事者団体）の調整・協働支援の本格実施の開始、さらに、第 4 回カンファレンス（大規模）の開催。

## **2. 推進フォーラムおよび地域プラットフォームについて**

### **2.1. 推進フォーラム・地域プラットフォームの概要**

当面、第 19 回企画委員会（2020 年 12 月開催）及び第 20 回回企画委員会（2021 年 1 月開催）配布のイメージ図でよいか。

### **2.2. 基本的なサービスの内容**

当面、第 19 回企画委員会（2020 年 12 月開催）及び第 20 回回企画委員会（2021 年 1 月開催）配布のイメージ図でよいか。

### **2.3. 対象とする就労困難者の範囲**

就労困難者の範囲をどこまでとるか

### **2.4. 対象とする就労支援サービス提供機関の要件**

当面は、地域プラットフォームに対する情報提供がメインになるので、あまりクオリティチェックをする必要はないか？

### **2.5. 日本財団 Work! Diversity プロジェクトと推進フォーラム・地域プラットフォーム構想との関係**

→ Work! Diversity プロジェクトの目的、「多様な働きづらい人々向けの多様な（良質な）

働く場が多様な形で整備され、実際働く人々が増えること」を実現するためには、基本サポートサービスが確実に提供される環境整備が必要である。基本的政策実現を目指す活動と一体的に推進すべき、まさに本プロジェクトの基本柱と位置付けられる。

## 2.6. Work! Diversity プロジェクトのモデル事業とモデル地域プラットフォームとの関係

- プロジェクトのモデル事業は、従来からの Work! Diversity プロジェクトが目指すもの（必要な厚生労働政策等の実現を目指す活動）のテスト事業と位置づけられ、日本財団から 8 割の補助を受け、就労実績等の検証が求められるものである。先行的に地域プラットフォームづくりに取り組んでいただくプロジェクトについても、このモデル事業の枠組みを用いることとし、企画委員会等への報告もお願いしたいと考えている。

## 2.7. 推進フォーラム・地域プラットフォームの整備及び維持に関するファイナンス

推進フォーラム・地域プラットフォームの整備・維持に必要な経費をどうするのか。

- 民間事業として独自のシステムを作り事業展開していくことを目指し、社会的意義を評価し投資するファンド資金を集める他、付帯的事業から収益が上がる（フォーラム、資格付与、出版等）方策も検討すべき。なお、セーフティネットの一環という位置づけで、国からの委託費や助成も可能性がある。プラットフォームのイニシャルコストは日本財団、その後の主要財源はファンド資金等で検討。ソーシャル・インパクト・ボンド等幅広に検討すべし。

## 2. 8. その他検討すべき事項

- 都道府県単位の活動とのリンク。
- 厚生労働省「重層的支援体制整備事業」に留意。

## 2. 9. 検討体制

当面、以下のような課題につき、企画委員会、有識者ヒアリングで詰める。

### ○検討すべき主な課題

- ・基本サービス内容
- ・ファンド等からの資金確保方法
- ・推進フォーラム・地域プラットフォームの構成メンバー及び活性化方策

- ・ステークホルダー、一般市民、政府・自治体等へのアピール度を高める方策

### 3. 当面のスケジュール

1) 1月20日（水）：第20回企画委員会

○推進フォーラム・地域プラットフォーム構想について、意見交換パート2

○就労支援サービス提供機関アンケート調査の最終確認

2) 1月22日（金）：有識者ヒアリング（LGBT）

3) 3月5日：WORK！DIVERSITY カンファレンス

4) 2月下旬～3月上旬

○就労支援サービス提供機関アンケート調査の実施

5) 3月後半：第21回企画委員会

○以下につき、報告、了解。

・2020年度事業報告

・2021年度事業計画

○推進フォーラム・地域プラットフォームの議論。

6) 3月後半：ファンド等からの資金確保方法につきヒアリングと意見交換。

7) 2020年度中に、「態様別総合検討部会」を1回開催する。